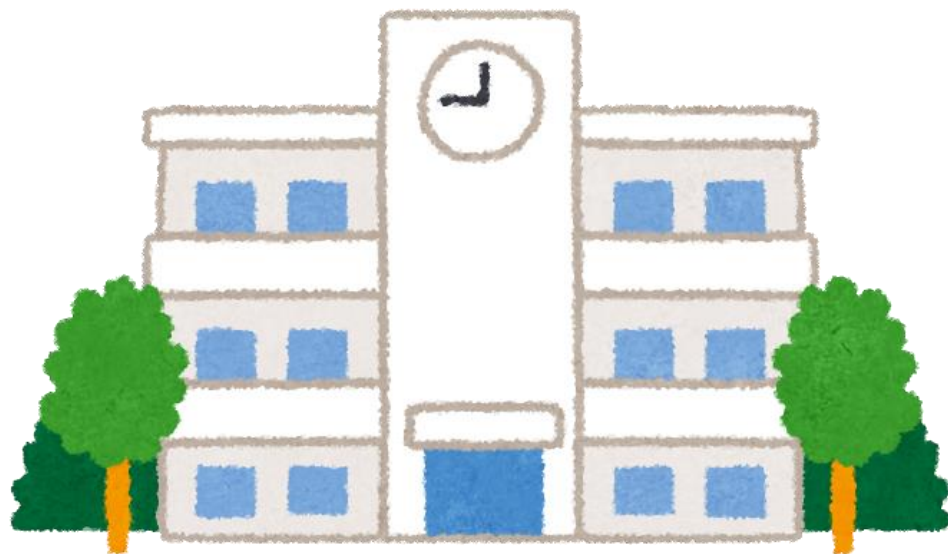


令和4年度
中学生チャレンジテスト
結果概要



交野市教育委員会

■ 目的

- 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

■ 調査対象

- 府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程及び支援学校中学部並びに府立中学校及び支援学校中学部（学校）の第1学年、第2学年、第3学年

■ 調査実施日

- 第1学年及び第2学年令和5年1月11日（水）
- 第3学年令和4年9月6日（火）

■ 調査の内容

- 調査の対象
 - 第1学年：国語、数学、英語及び生徒に対するアンケート
 - 第2学年及び第3学年：国語、社会、数学、理科、英語及び生徒に対するアンケート
 - ※社会（2年）及び理科（2・3年）については、各学校の学習進度等に応じて問題を選択
- 出題形式 選択式、短答式、記述式

学年・教科別
調査結果

【1年生】

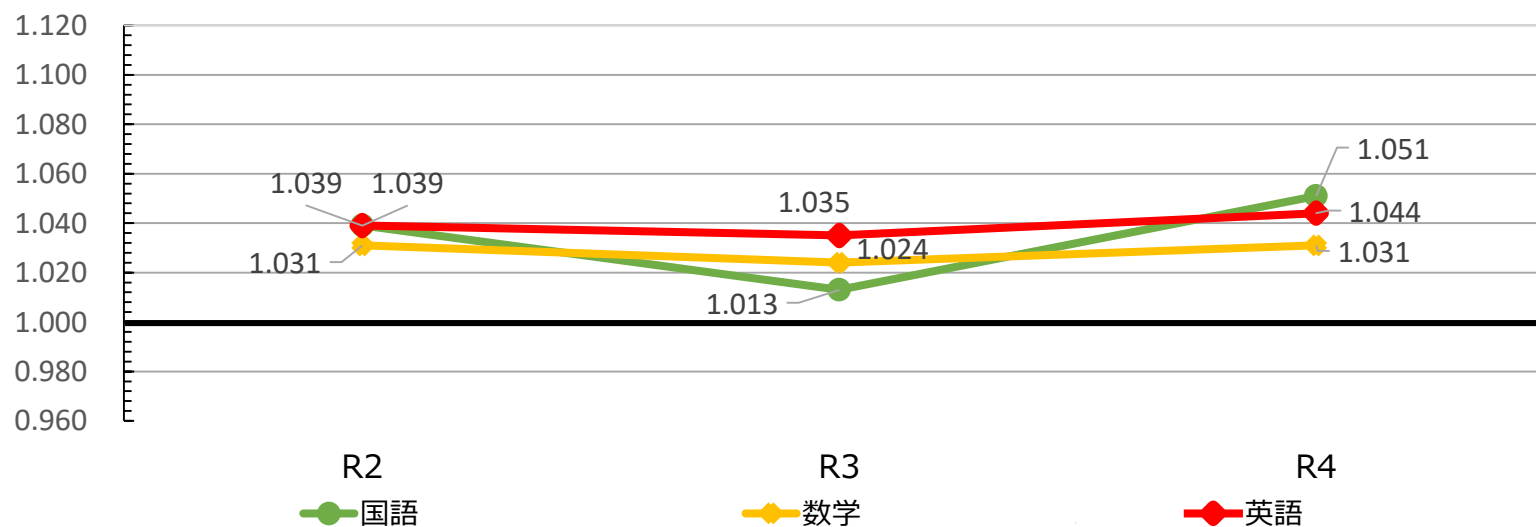
平均点比較

※対大阪府比: 交野市の平均点÷大阪府の平均点

1年生	交野市	大阪府	交野市— 大阪府	対大阪府比
国語	61.6	58.6	+3.0	1.051
数学	56.7	55.0	+1.7	1.031
英語	61.7	59.1	+2.6	1.044

対府比の経年変化

※府平均を「1」とした場合の交野市との比較



【2年生】

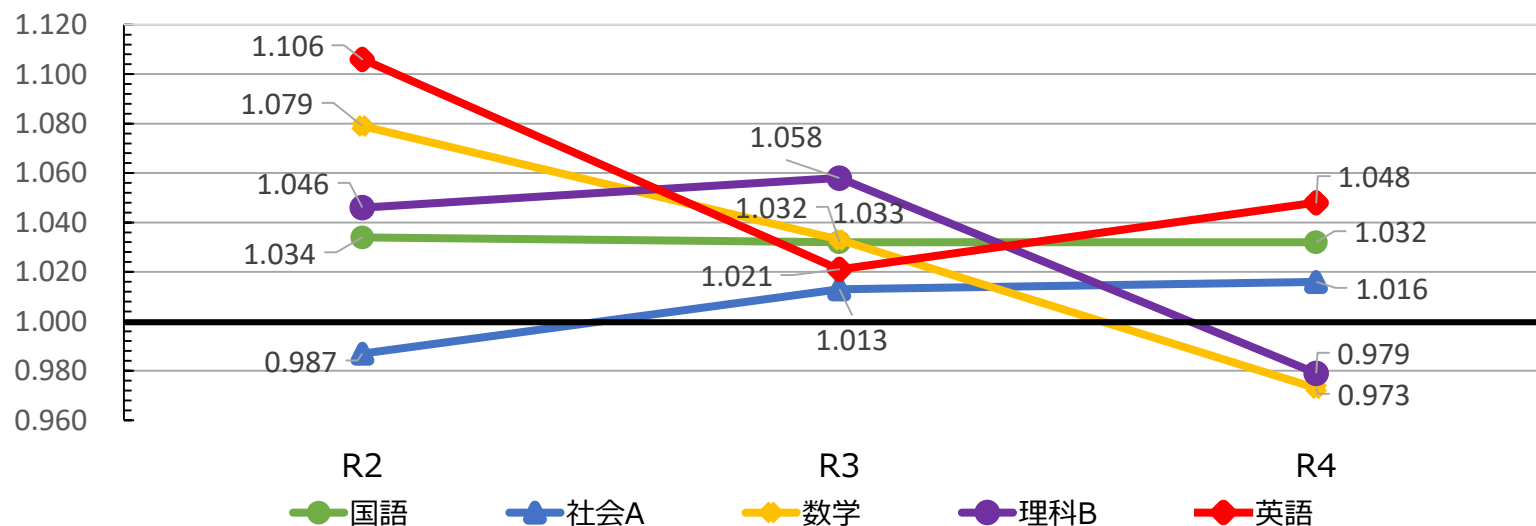
平均点比較

※対大阪府比:交野市の平均点÷大阪府の平均点

2年生	交野市	大阪府	交野市－ 大阪府	対大阪府比
国語	61.5	59.6	+1.9	1.032
社会A	45.1	44.4	+0.7	1.016
数学	47.7	49.0	-1.3	0.973
理科B	52.0	53.1	-1.1	0.979
英語	58.8	56.1	+2.7	1.048

対府比の経年変化

※府平均を「1」とした場合の交野市との比較



【3年生】

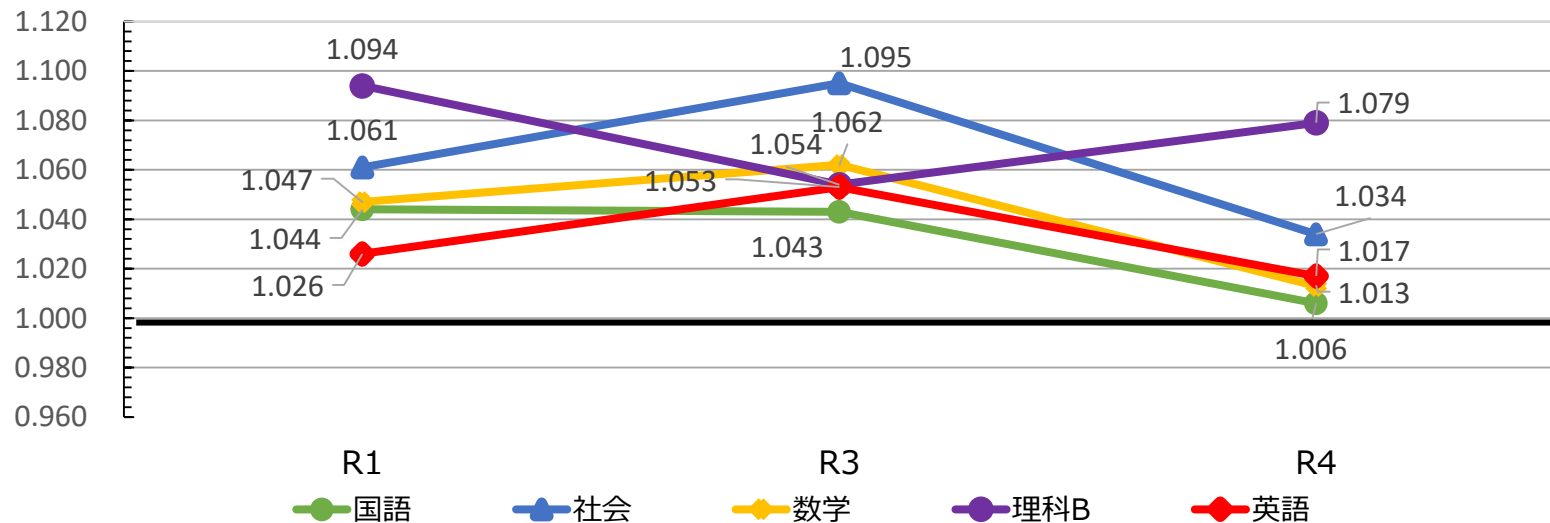
平均点比較

※対大阪府比: 交野市の平均点 ÷ 大阪府の平均点

3年生	交野市	大阪府	交野市— 大阪府	対大阪府比
国語	54.1	53.8	+0.3	1.006
社会	57.3	55.4	+1.9	1.034
数学	56.7	56.0	+0.7	1.013
理科B	61.2	56.7	+4.5	1.079
英語	55.1	54.2	+0.9	1.017

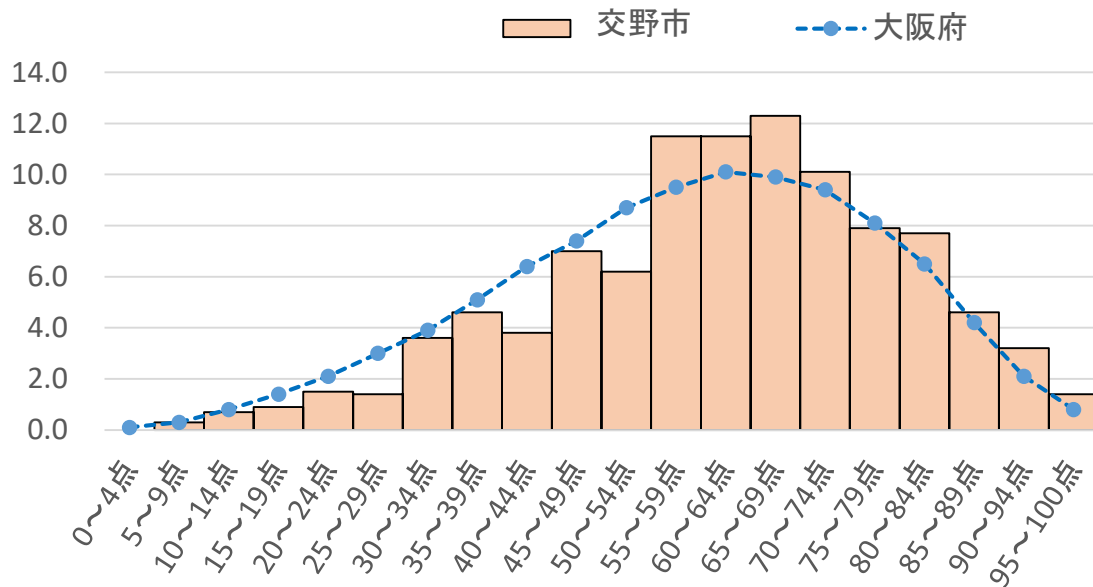
対府比の経年変化

※府平均を「1」とした場合の交野市との比較



【1年生 国語】

得点分布(%)



	平均点	中央値	標準偏差	無解答率 (%)
交野市	61.6	63.0	18.0	10.5
大阪府	58.6	60.0	18.7	12.5

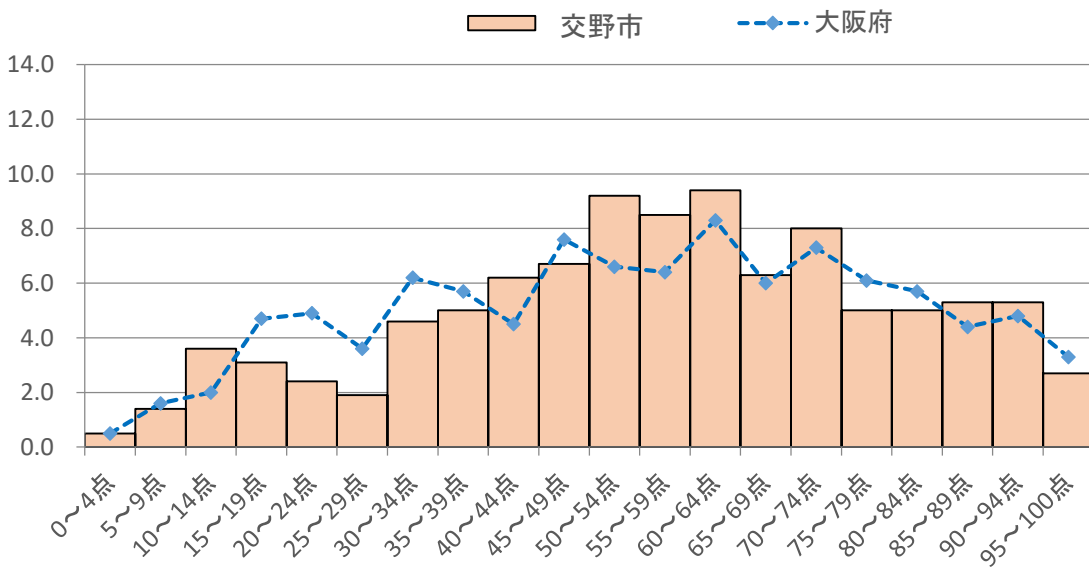
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	得点率 (%)		
			交野市	大阪府	
全体			30	—	—
学習指導要領の領域等	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	9	59.2	56.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	34.9	29.8
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	7	70.8	68.3
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	5	72.5	69.4
		書くこと	3	41.6	36.0
		読むこと	10	60.4	57.6
評価の観点	知識・技能	18	60.3	57.2	
	思考・判断・表現	18	60.2	56.8	
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	
問題形式	選択式	14	72.7	70.3	
	短答式	13	56.5	53.6	
	記述式	3	40.9	36.0	

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

【1年生 数学】

得点分布(%)



分類・区分別集計結果

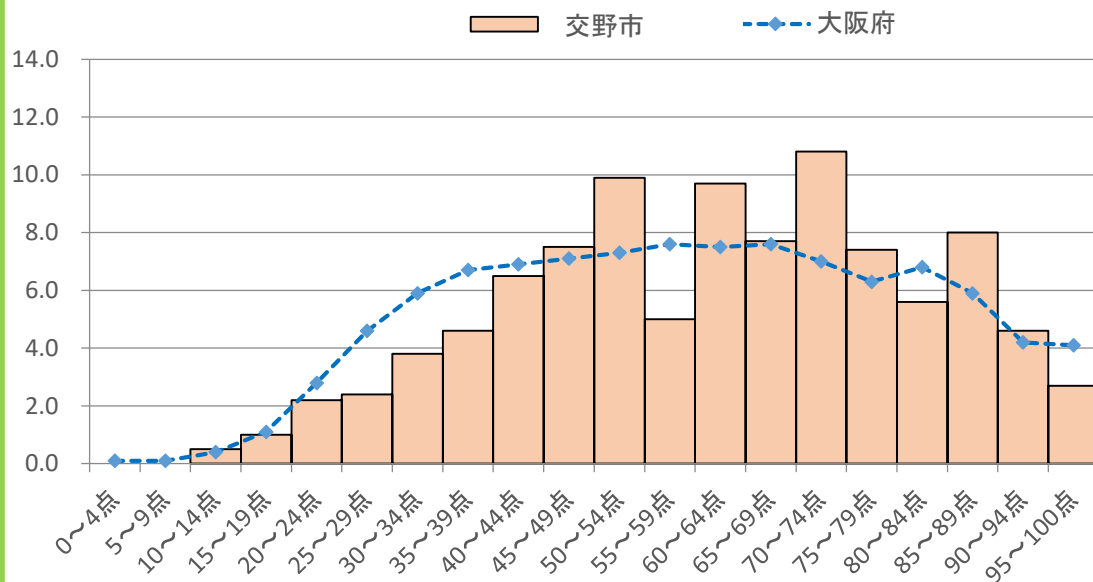
分類	区分	対象 問題数(問)	得点率(%)		
			交野市	大阪府	
全 体			32	—	—
学習指導要領 の領域	数と計算	16	57.1	54.9	
	図形	6	57.9	57.3	
	関数	10	55.3	53.8	
	データの活用	—	—	—	
評価の観点	知識・技能	27	64.0	61.9	
	思考・判断・表現	5	25.4	25.5	
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	
問題形式	選択式	16	61.2	60.0	
	短答式	14	59.1	56.6	
	記述式	2	15.8	15.6	

	平均点	中央値	標準偏差	無解答率 (%)
交野市	56.7	57.0	23.0	7.1
大阪府	55.0	57.0	24.0	8.0

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

【1年生 英語】

得点分布(%)



分類・区分別集計結果

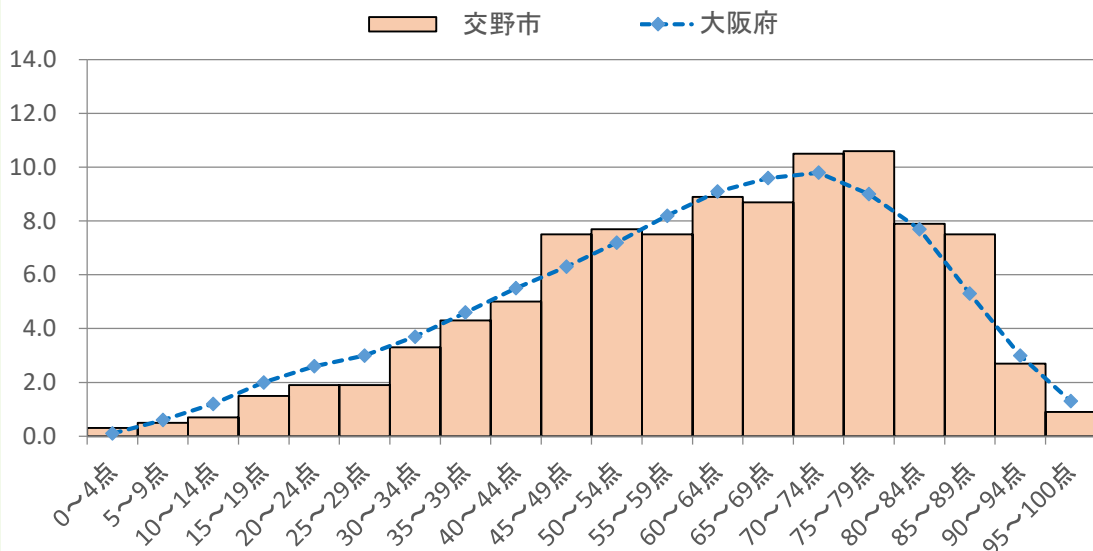
分類	区分	対象 問題数(問)	得点率(%)		
			交野市	大阪府	
全 体			39	—	—
学習指導要領 の領域	聞くこと	15	72.2	69.0	
	読むこと	17	57.2	54.5	
	話すこと[やり取り]	—	—	—	
	話すこと[発表]	—	—	—	
	書くこと	7	55.2	53.4	
評価の観点	知識・技能	21	70.7	68.1	
	思考・判断・表現	18	51.6	48.9	
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	
問題形式	選択式	33	66.0	63.9	
	短答式	3	49.2	44.1	
	記述式	3	35.0	30.1	

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

	中央値	平均点	標準偏差	無解答率 (%)
交野市	61.7	63.0	19.8	4.1
大阪府	59.1	59.0	21.3	5.3

【2年生 国語】

得点分布(%)



分類・区分別集計結果

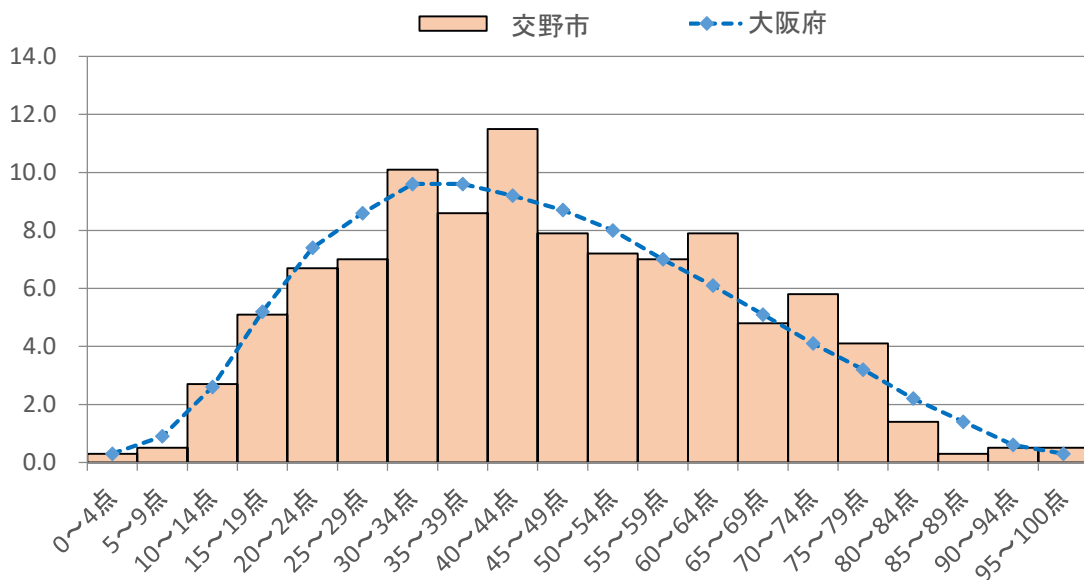
分類	区分	対象問題数(問)	得点率(%)		
			交野市	大阪府	
全体			31	-	-
学習指導要領の領域等	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	9	68.3	67.0
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	39.8	37.8
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	7	65.2	61.7
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	6	55.3	54.2
		書くこと	5	52.2	50.1
		読むこと	11	57.4	55.6
評価の観点	知識・技能	17	64.0	61.6	
	思考・判断・表現	20	58.8	56.9	
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	
問題形式	選択式	11	70.5	69.7	
	短答式	17	62.8	60.4	
	記述式	3	37.1	34.5	

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

	平均点	中央値	標準偏差	無解答率(%)
交野市	61.5	64.0	19.5	7.2
大阪府	59.6	62.0	20.3	8.5

【2年生 社会A】

得点分布(%)



	平均点	中央値	標準偏差	無解答率 (%)
交野市	45.1	43.0	19.0	5.6
大阪府	44.4	43.0	19.3	6.3

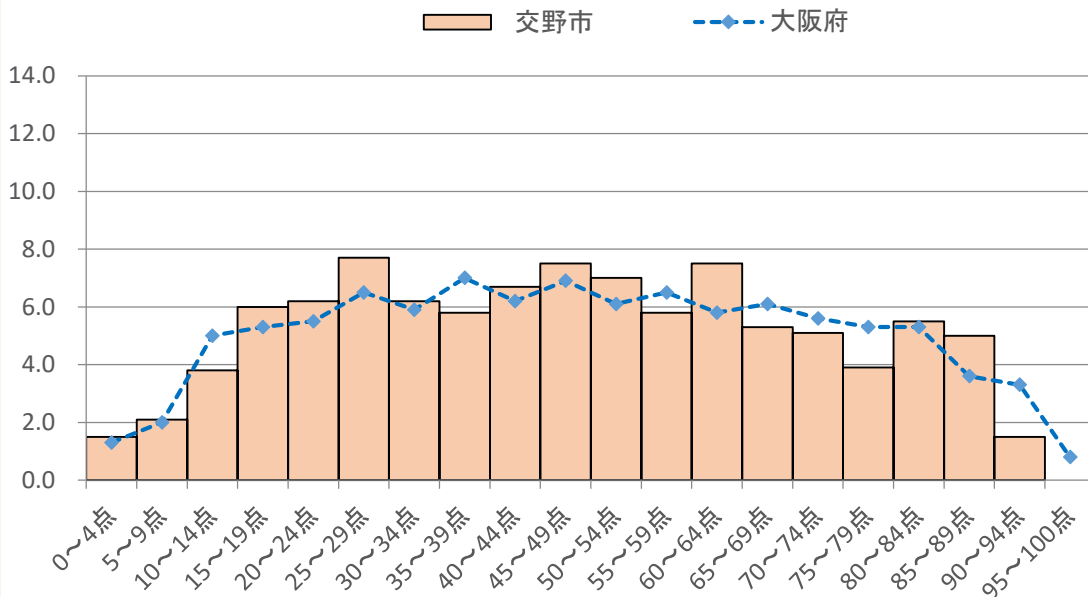
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数(問)	得点率(%)		
			交野市	大阪府	
全 体			36	—	—
学習指導要領 の領域	地理的分野	20	47.6	46.5	
	歴史的分野	16	42.2	41.9	
評価の観点	知識・技能	28	49.7	48.9	
	思考・判断・表現	8	31.3	31.0	
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	
問題形式	選択式	28	47.7	46.9	
	短答式	6	43.3	42.1	
	記述式	2	25.7	26.7	

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

【2年生 数学】

得点分布(%)



分類・区分別集計結果

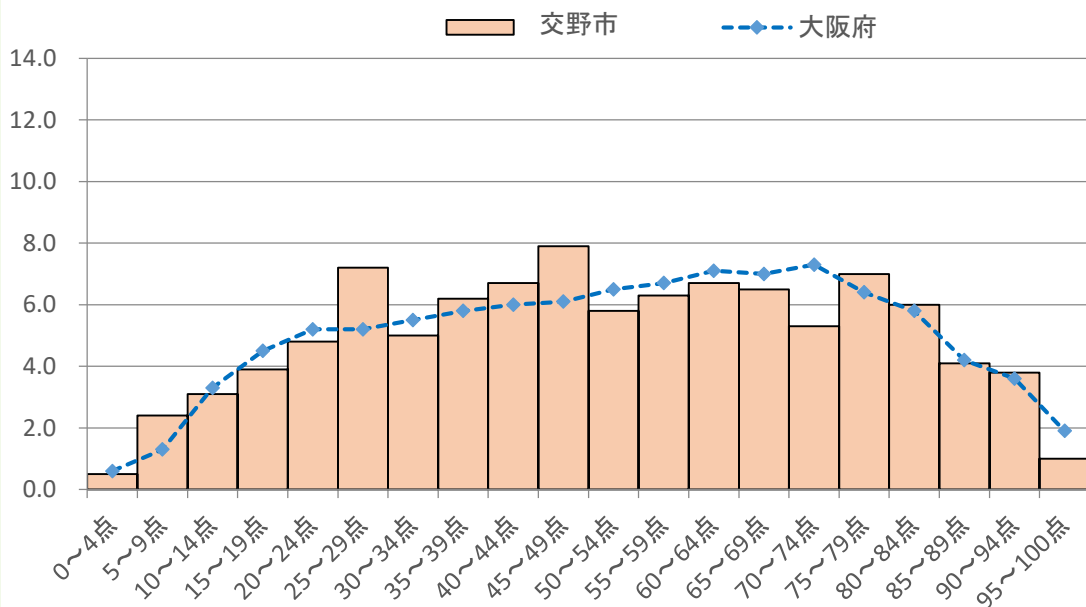
分類	区分	対象 問題数(問)	得点率(%)		
			交野市	大阪府	
全体			30	—	—
学習指導要領 の領域	数と計算	10	52.8	52.5	
	図形	10	52.7	55.9	
	関数	10	37.4	38.3	
	データの活用	—	—	—	
評価の観点	知識・技能	19	54.9	56.7	
	思考・判断・表現	11	34.7	35.3	
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	
問題形式	選択式	11	52.7	55.1	
	短答式	16	46.7	47.6	
	記述式	3	32.1	31.4	

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

	平均点	中央値	標準偏差	無解答率 (%)
交野市	47.7	48.0	23.1	15.1
大阪府	49.0	49.0	24.1	16.1

【2年生 理科B】

得点分布(%)



	平均点	中央値	標準偏差	無解答率 (%)
交野市	52.0	52.0	23.6	7.9
大阪府	53.1	54.0	23.8	8.7

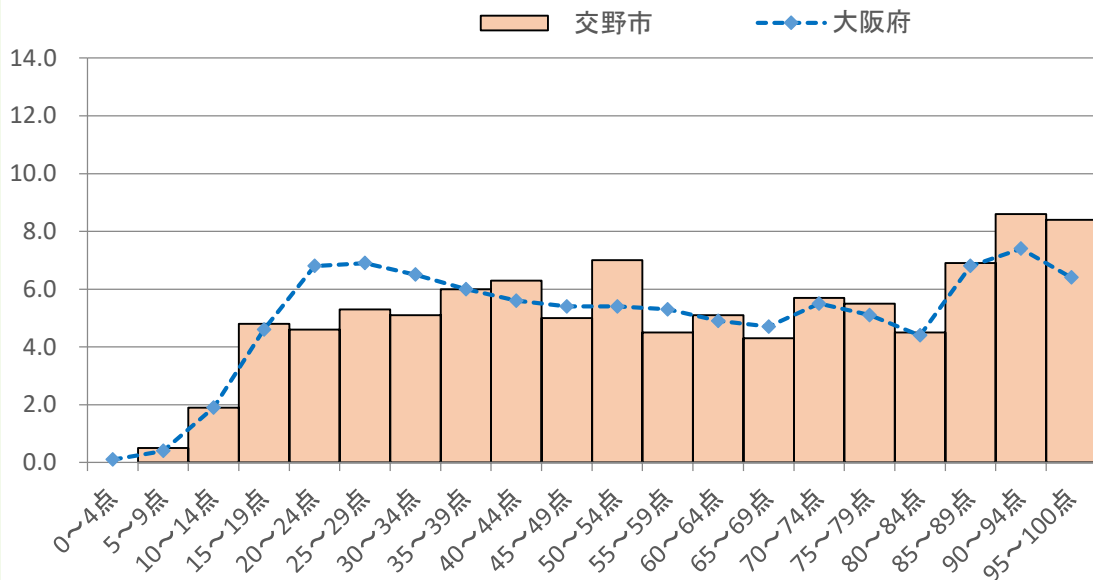
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数(問)	得点率 (%)	
			交野市	大阪府
全 体		31	—	—
学習指導要領 の領域	エネルギー	—	—	—
	粒子	13	50.0	50.4
	生命	12	56.8	58.6
	地球	6	46.2	47.6
評価の観点	知識・技能	16	54.0	55.1
	思考・判断・表現	15	50.2	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	16	54.1	54.9
	短答式	13	48.7	50.6
	記述式	2	53.8	53.4

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

【2年生 英語】

得点分布(%)



	平均点	中央値	標準偏差	無解答率 (%)
交野市	58.8	58.0	26.2	5.2
大阪府	56.1	55.0	26.1	6.5

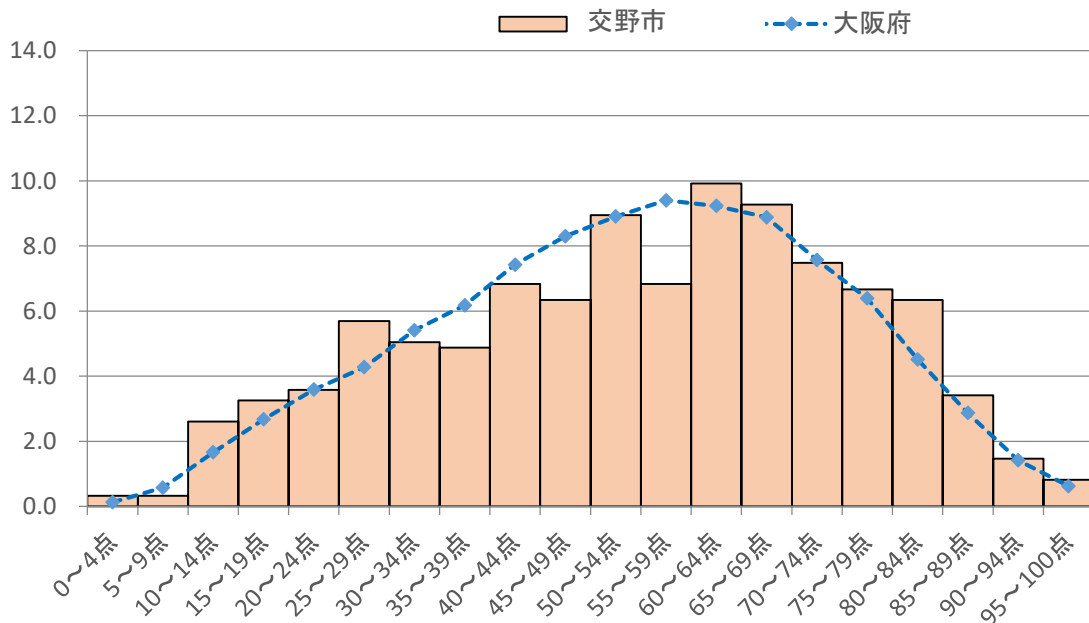
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数(問)	得点率 (%)	
			交野市	大阪府
全体		37	—	—
学習指導要領 の領域	聞くこと	12	71.2	70.1
	読むこと	12	60.1	58.2
	話すこと[やり取り]	—	—	—
	話すこと[発表]	—	—	—
	書くこと	13	49.6	45.1
評価の観点	知識・技能	18	54.0	50.3
	思考・判断・表現	19	63.3	61.6
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—
問題形式	選択式	29	65.1	63.4
	短答式	—	—	—
	記述式	8	38.6	32.9

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

【3年生 国語】

得点分布(%)



	平均点	中央値	標準偏差	無解答率 (%)
交野市	54.1	56.0	21.0	12.6
大阪府	53.8	55.0	19.6	12.1

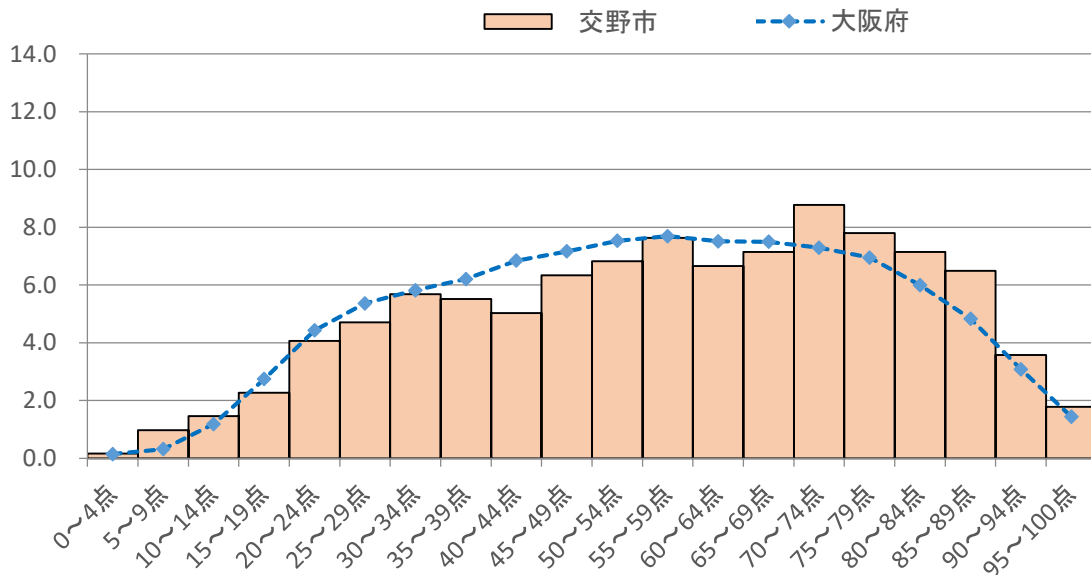
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	得点率 (%)		
			交野市	大阪府	
全体			31	—	—
学習指導要領の領域等	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	10	69.0	69.1
		(2)情報の扱い方に関する事項	1	8.0	7.7
		(3)我が国の言語文化に関する事項	6	54.2	51.7
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	4	26.3	24.8
		書くこと	4	43.2	42.9
		読むこと	12	56.0	56.2
評価の観点	知識・技能	17	56.7	55.7	
	思考・判断・表現	19	47.9	48.0	
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	
問題形式	選択式	12	59.4	59.1	
	短答式	15	61.1	61.4	
	記述式	4	29.3	27.7	

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

【3年生 社会】

得点分布(%)



	平均点	中央値	標準偏差	無解答率 (%)
交野市	57.3	59.0	22.2	4.5
大阪府	55.4	56.0	21.4	4.6

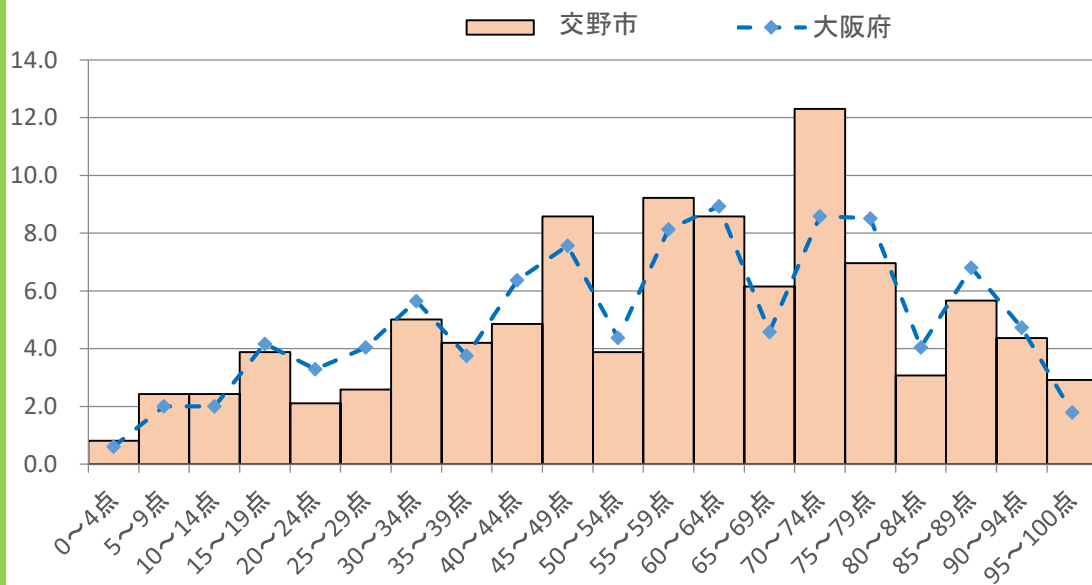
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数(問)	得点率 (%)		
			交野市	大阪府	
全 体			36	—	—
学習指導要領 の領域	地理的分野	18	56.8	55.7	
	歴史的分野	18	57.9	55.1	
評価の観点	知識・技能	28	61.5	59.1	
	思考・判断・表現	8	43.9	43.4	
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	
問題形式	選択式	30	59.1	57.4	
	短答式	4	60.9	57.5	
	記述式	2	34.4	32.4	

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

【3年生 数学】

得点分布(%)



	平均点	中央値	標準偏差	無解答率 (%)
交野市	56.7	59.0	23.5	9.6
大阪府	56.0	58.0	23.6	9.6

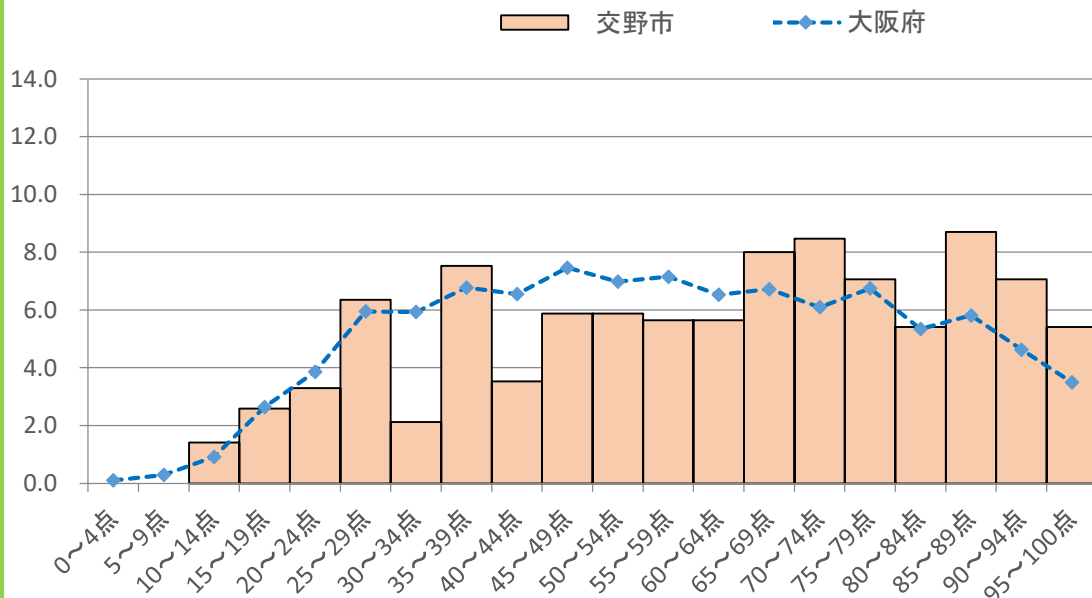
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数(問)	得点率 (%)		
			交野市	大阪府	
全 体			33	—	—
学習指導要領 の領域	数と計算	10	63.0	63.7	
	図形	8	65.9	63.3	
	関数	9	44.4	44.3	
	データの活用	6	52.1	50.4	
評価の観点	知識・技能	24	62.8	62.0	
	思考・判断・表現	9	40.3	39.7	
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	
問題形式	選択式	15	52.2	51.4	
	短答式	16	63.4	63.1	
	記述式	2	35.9	32.4	

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

【3年生 理科B】

得点分布(%)



	平均点	中央値	標準偏差	無解答率 (%)
交野市	61.2	65.0	23.5	4.7
大阪府	56.7	56.0	22.5	6.0

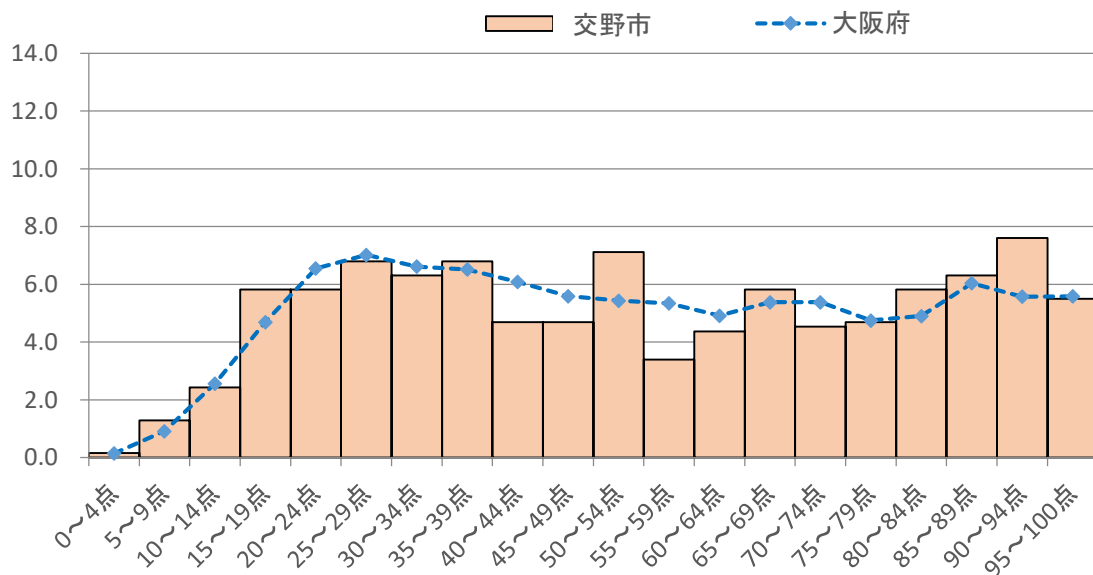
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数(問)	得点率 (%)		
			交野市	大阪府	
全 体			30	—	—
学習指導要領 の領域	エネルギー	6	60.7	54.8	
	粒子	12	63.3	57.9	
	生命	6	67.6	64.8	
	地球	6	51.4	48.1	
評価の観点	知識・技能	15	68.7	63.5	
	思考・判断・表現	15	55.2	51.1	
	主体的に学習に取り 組む態度	—	—	—	
問題形式	選択式	22	65.1	61.6	
	短答式	6	53.2	44.5	
	記述式	2	44.8	40.8	

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

【3年生 英語】

得点分布(%)



	平均点	中央値	標準偏差	無解答率 (%)
交野市	55.1	54.0	26.7	6.5
大阪府	54.2	53.0	25.8	7.1

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数(問)	得点率 (%)		
			交野市	大阪府	
全体			35	—	—
学習指導要領 の領域	聞くこと	10	71.6	70.6	
	読むこと	10	55.0	55.6	
	話すこと[やり取り]	—	—	—	
	話すこと[発表]	—	—	—	
	書くこと	15	45.4	43.5	
評価の観点	知識・技能	19	48.5	46.8	
	思考・判断・表現	16	62.2	62.2	
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	
問題形式	選択式	26	62.0	61.7	
	短答式	—	—	—	
	記述式	9	35.4	32.8	

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

国語(1年生) 課題の見られた問題

3 (4) 出題の趣旨 文章の内容をとらえ、筆者の考えを理解することができる。

【問い】

本文中に下線部②とありますが、筆者は、魚が陸から離れないことで、魚にとってどのようなメリットがあると述べていますか。その内容についてまとめた次の文の に入る内容を、本文全体から読み取って四十字以上、九十字以内で書きなさい。

魚が陸から離れないことで、魚にとって というメリットがある。

【本文一部抜粋】

では、なぜ「魚は陸から離れられない」のだろうか。第一の理由は、陸から海に多くの栄養分が流れこむからである。陸上から流れこむ栄養分によって植物プランクトンが発生する。それを食べる動物プランクトンを食べる海産無脊椎動物(貝類やエビ類など)や小型魚類も沿岸で多くなり、小型魚類や海産無脊椎動物を食べる中型・大型の魚も沿岸で多く、沖合では少なくなる。

第二の理由として、大陸の沿岸には魚が暮らすための様々な住み家があるのだ。

栄養面から考えても、また、住み家という点から考えても、魚にとって陸から離れるメリットはないのである。

【正答例】

(魚が陸から離れないことで、魚にとって)

陸上から流れこむ栄養分によって魚が食べるプランクトン多くなるというメリットと、沿岸には魚が暮らすための様々な住み家がある

(というメリットがある。)[六十一字]

3 (4)	正答率	無解答率
交野市	19.0	22.4
大阪府	18.5	26.3

【課題】

文章の内容をとらえ、確かな事実に基づいて筆者の考えをまとめること。

社会A(2年生)

課題の見られた問題

2 (2)③ 出題の趣旨 新宮市の気候の特徴について、資料から読み取れる情報をもとに考察し、説明することができる。

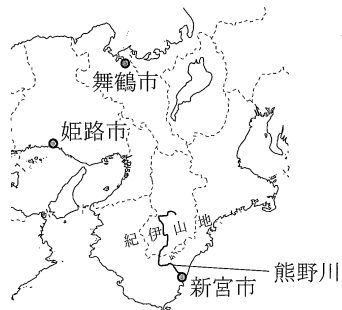
【問い】

紀伊山地の木材の輸送は、かつては熊野川などの河川に頼っており、図9中の新宮市の熊野川河口周辺には現在でも製材所が集まっています。あとのア～ウは、図9中の舞鶴市、姫路市、新宮市のいずれかの雨温図です。新宮市の雨温図に当たるものをア～ウから1つ選びなさい。また、そのように判断した理由を、新宮市が位置する近畿地方南部の気候に影響を与える風と、影響を与える風が夏に(梅雨から秋にかけて)日本海、太平洋いずれの海から吹くのかかわかるように、あとの条件に従って書きなさい。

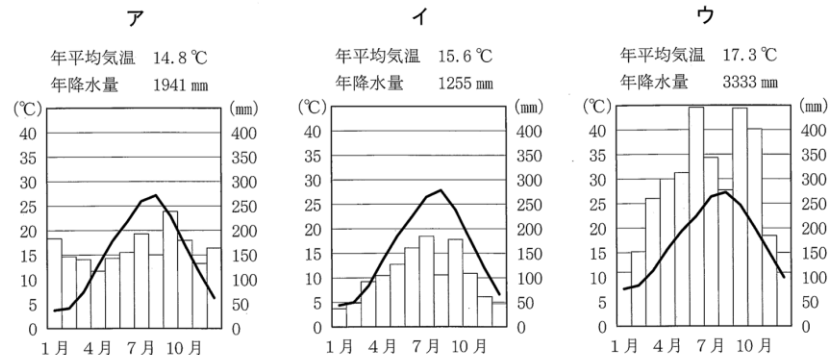
【条件①】 風の名前を漢字3字で書くこと。

【条件②】 「新宮市は、」に続けて、20字以上、45字以内で書くこと。

図9



(.....は県界を示す)



(気象庁のWebページの資料により作成)

【正答例】ウ

(新宮市は、)季節風が太平洋から吹き、夏に降水量が多くなるから。[25字]

2 (2)③	正答率	無解答率
交野市	20.4	6.7
大阪府	23.1	8.1

【課題】

社会で学習した知識・技能を活用し、条件にあわせて、適切に文章を書くこと。

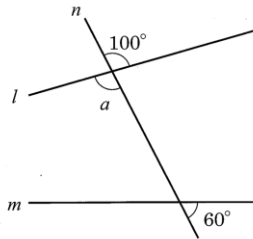
数学(2年生) 課題の見られた問題

3 (1) 出題の趣旨 錯角の意味を理解している。

【問い】

図1のように、2つの直線 l, m に1つの直線 n が交わっています。このとき、 $\angle a$ の錯角の大きさをあとのア～エから1つ選びなさい。

図1



ア 60°

イ 80°

ウ 100°

エ 120°

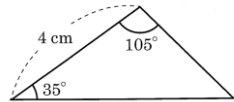
【正答】エ

(6) 出題の趣旨 三角形の合同条件を理解している。

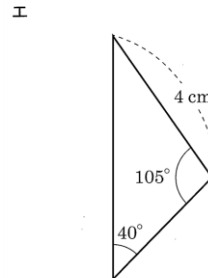
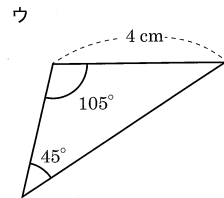
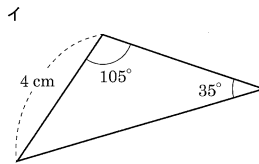
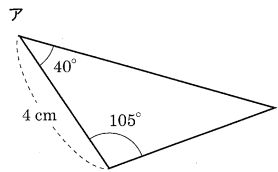
【問い】

図6の三角形と合同な三角形を、あとのア～エから1つ選びなさい。

図6



【正答】エ



3 (1)	正答率	無解答率
交野市	25.1	0.3
大阪府	30.8	0.3

3 (6)	正答率	無解答率
交野市	62.2	0.5
大阪府	69.8	0.3

【課題】

「図形」領域における錯角や三角形の合同条件等にかかる理解の定着。

理科(2年生) 課題の見られた問題

1 (1)① 出題の趣旨 感覚器官について理解している。

【問い】

[まとめ] 中の_____下線部の反応では、手の皮ふがボタンにふれたという刺激を受けとります。一般に、外界からの刺激を受けとる器官は何と呼ばれていますか、書きなさい。

【正答】 感覚器官

1 (1)①	正答率	無解答率
交野市	59.3	12.1
大阪府	66.3	9.6

1 (1)③ 出題の趣旨 反射について理解している。

【問い】

[まとめ] 中の<無意識に起こる反応の例>のように、刺激に対して無意識に起こる反応は何と呼ばれていますか、書きなさい。

【正答】 反射

1 (1)③	正答率	無解答率
交野市	67.0	15.9
大阪府	75.5	11.6

【まとめ】

刺激に対するヒトの反応には、意識して起こす反応と無意識に起こる反応がある。

<意識して起こす反応の例>

- ・ボタンが手にふれたら、ボタンをにぎる。
- ・暑いと感じたら、上着をぬぐ。

<無意識に起こる反応例>

- ・熱いものが手にふれると、熱いと感じる前に思わず手を引っ込める。
- ・暗い場所から明るい場所に移動すると、ひとみ(瞳孔)が小さくなる。

【課題】

「生命」領域における感覚器官や反射等にかかる理解の定着。

英語(1年生) 課題の見られた問題

5 (1) 出題の趣旨 3人称複数現在の疑問文について理解している。

【問い】

AとBの会話です。()に入れる英語として最も適しているものを、あとのア～エからそれぞれ1つずつ選びなさい。

A: () your sisters like sandwiches?

B: No.They like pizza.

- ア Am
- イ Do
- ウ Is
- エ Does

【正答例】 イ

5 (1)	正答率	無解答率
交野市	35.4	0.2
大阪府	37.0	0.3

(4) 出題の趣旨 代名詞について理解している。

A: Do you have an orange pencil?

B: No, but I have a red ().

- ア it
- イ nice
- ウ one
- エ his

【正答例】 ウ

5 (4)	正答率	無解答率
交野市	55.0	0.3
大阪府	60.4	0.6

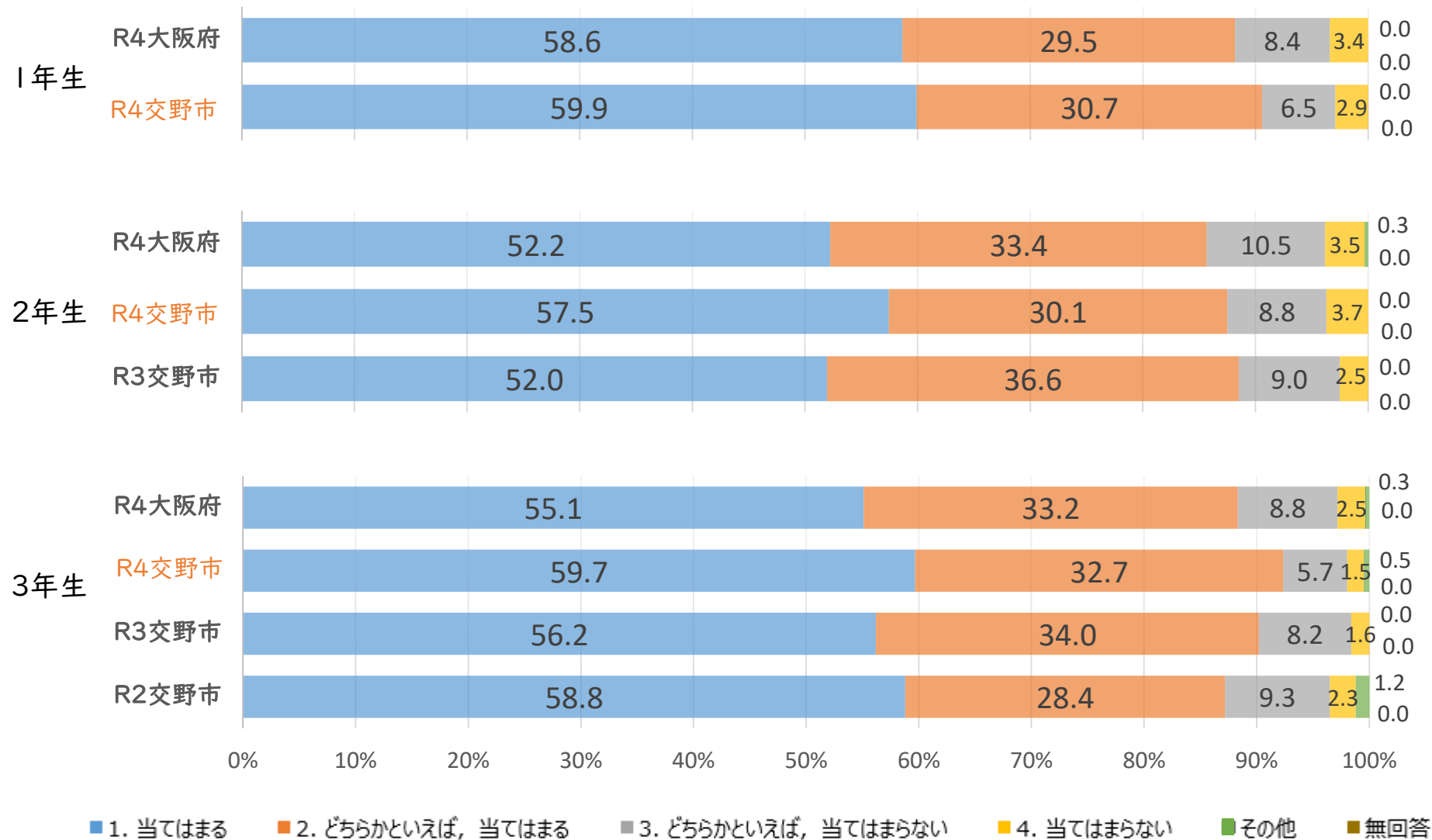
【課題】

3人称複数現在の疑問文や代名詞等の文法事項の規則を理解し、適切に用いること。

アンケート調査 結果

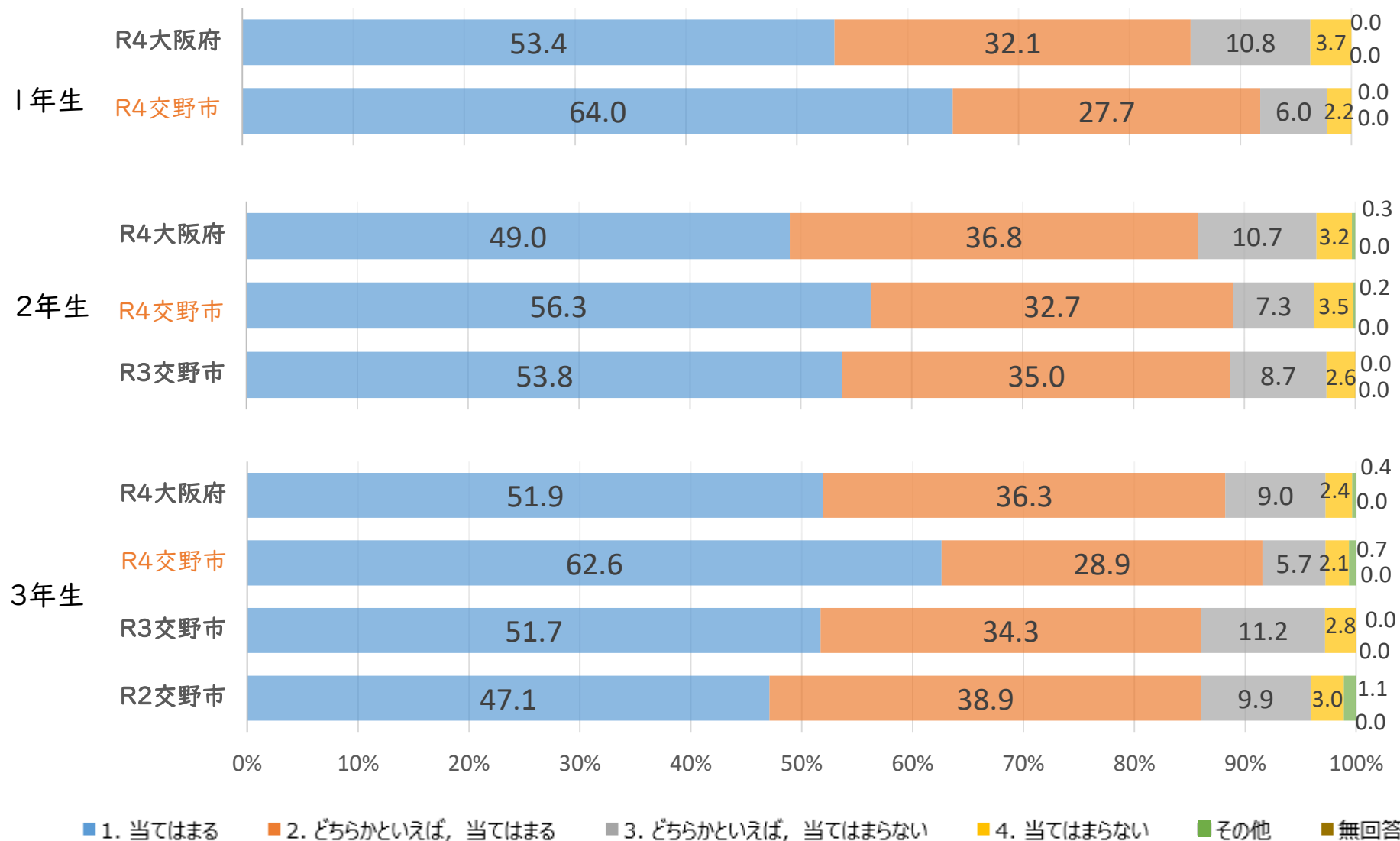
(同一集団経年比較)

Q.授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



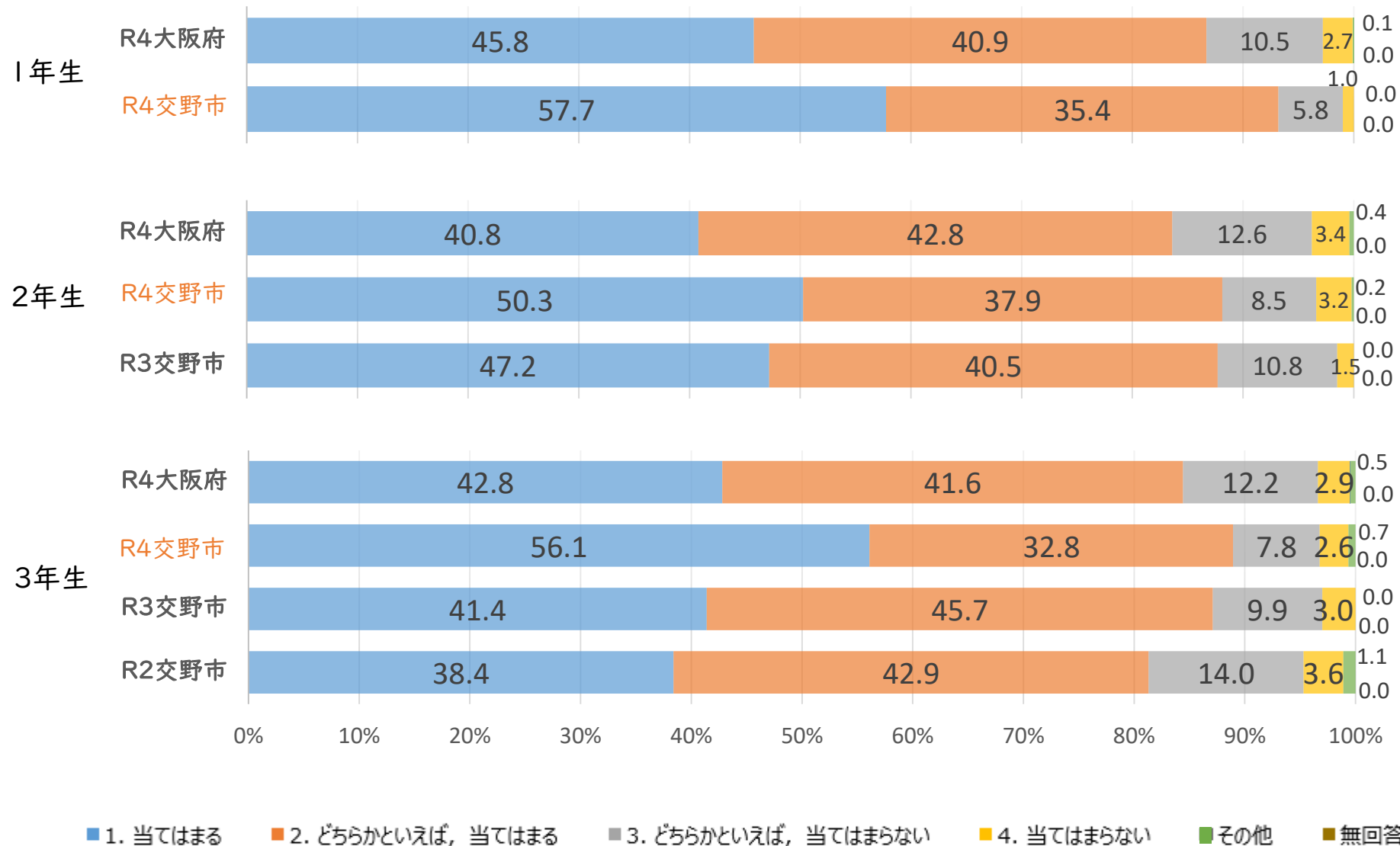
(同一集団経年比較)

Q.授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。



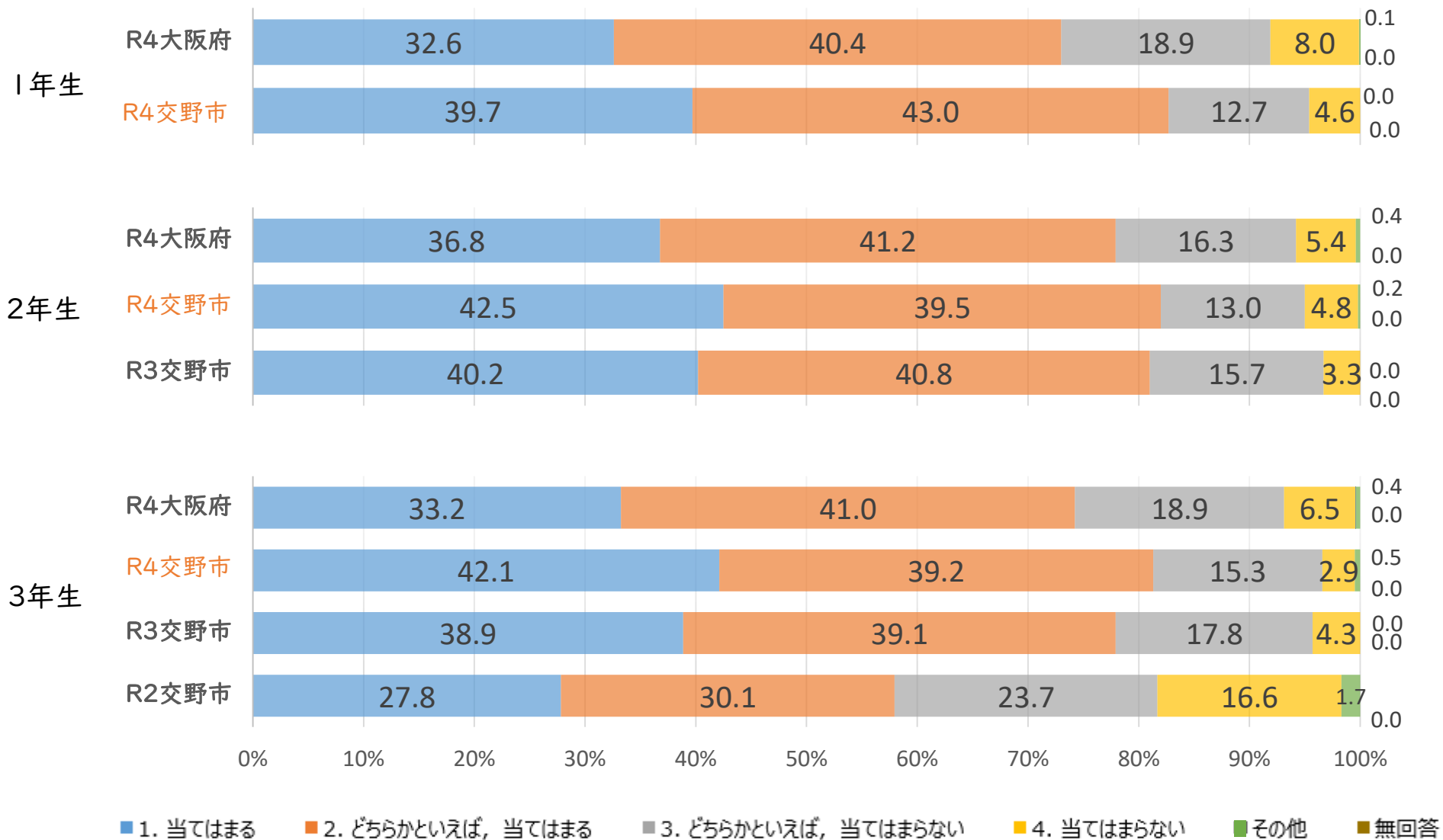
(同一集団経年比較)

Q.授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。



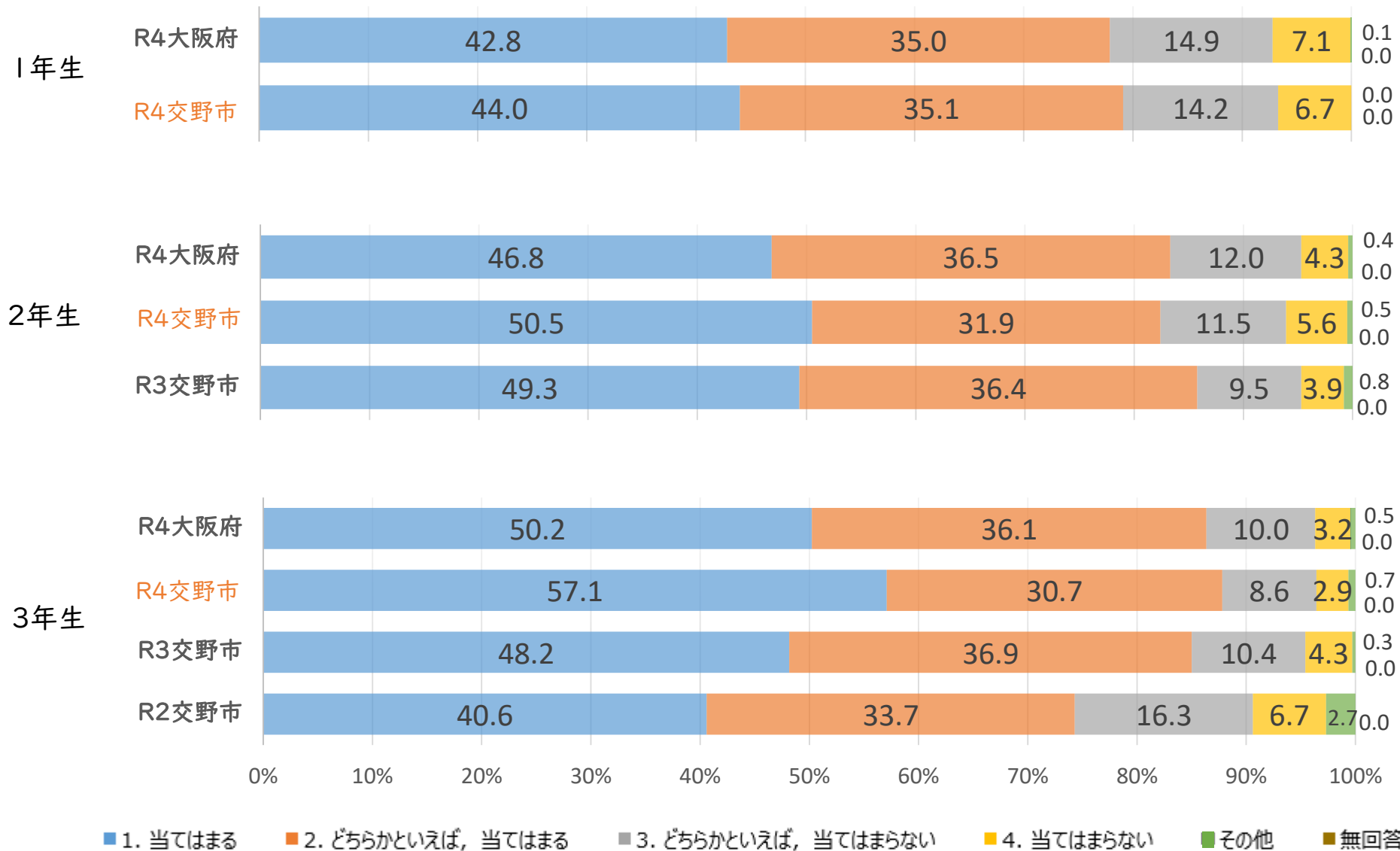
(同一集団経年比較)

Q.授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。



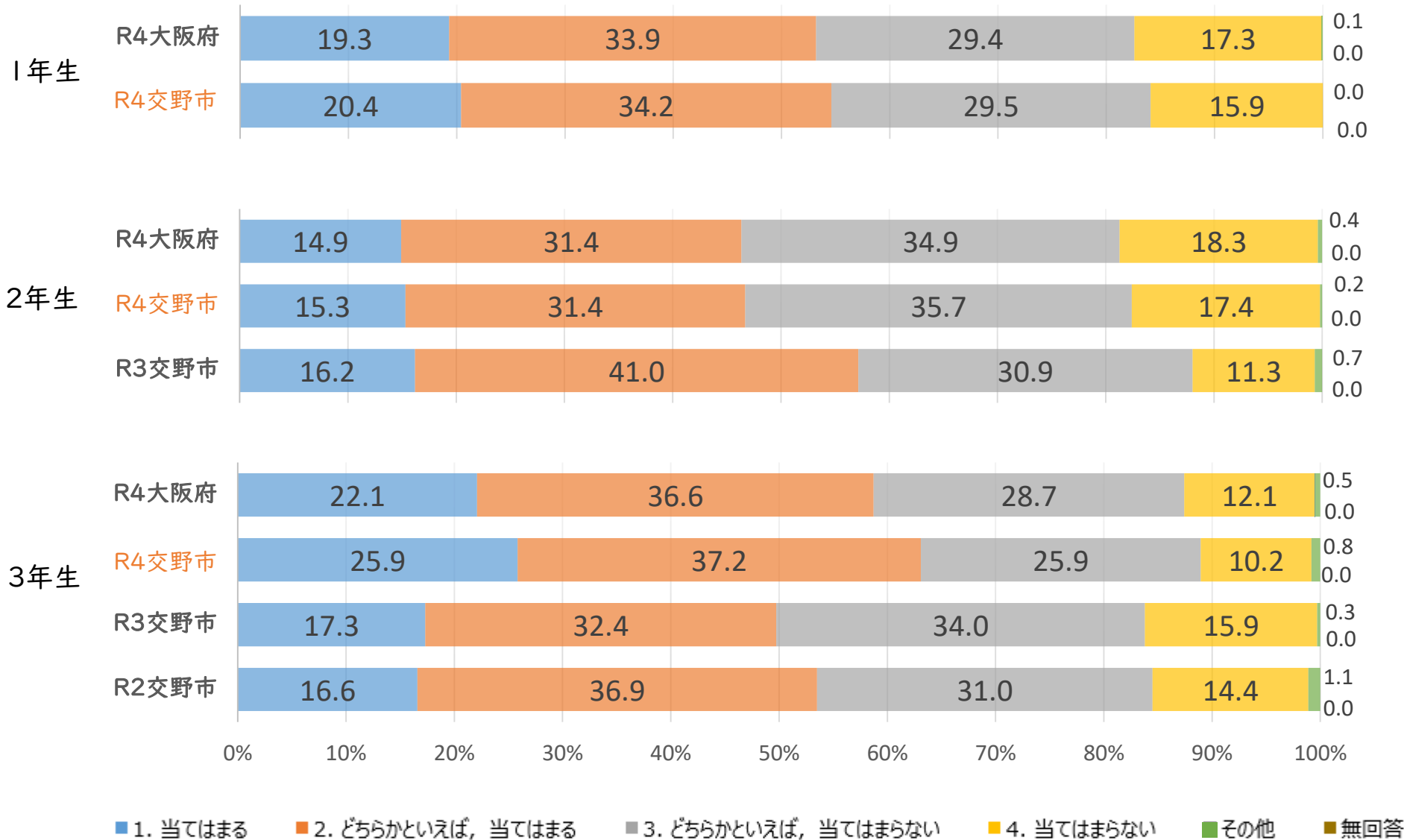
(同一集団経年比較)

Q.授業中、間違っても笑われない。



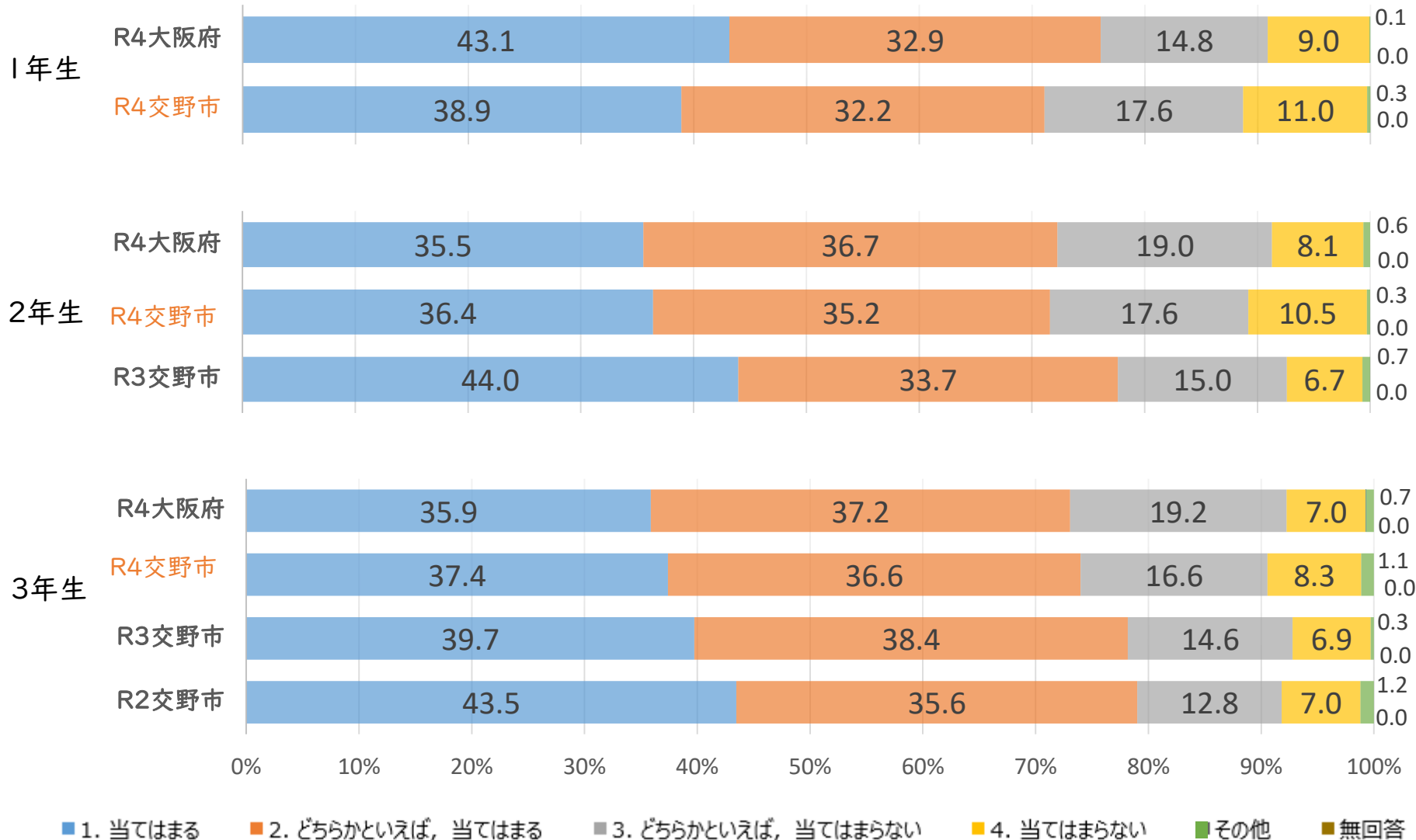
(同一集団経年比較)

Q.自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。



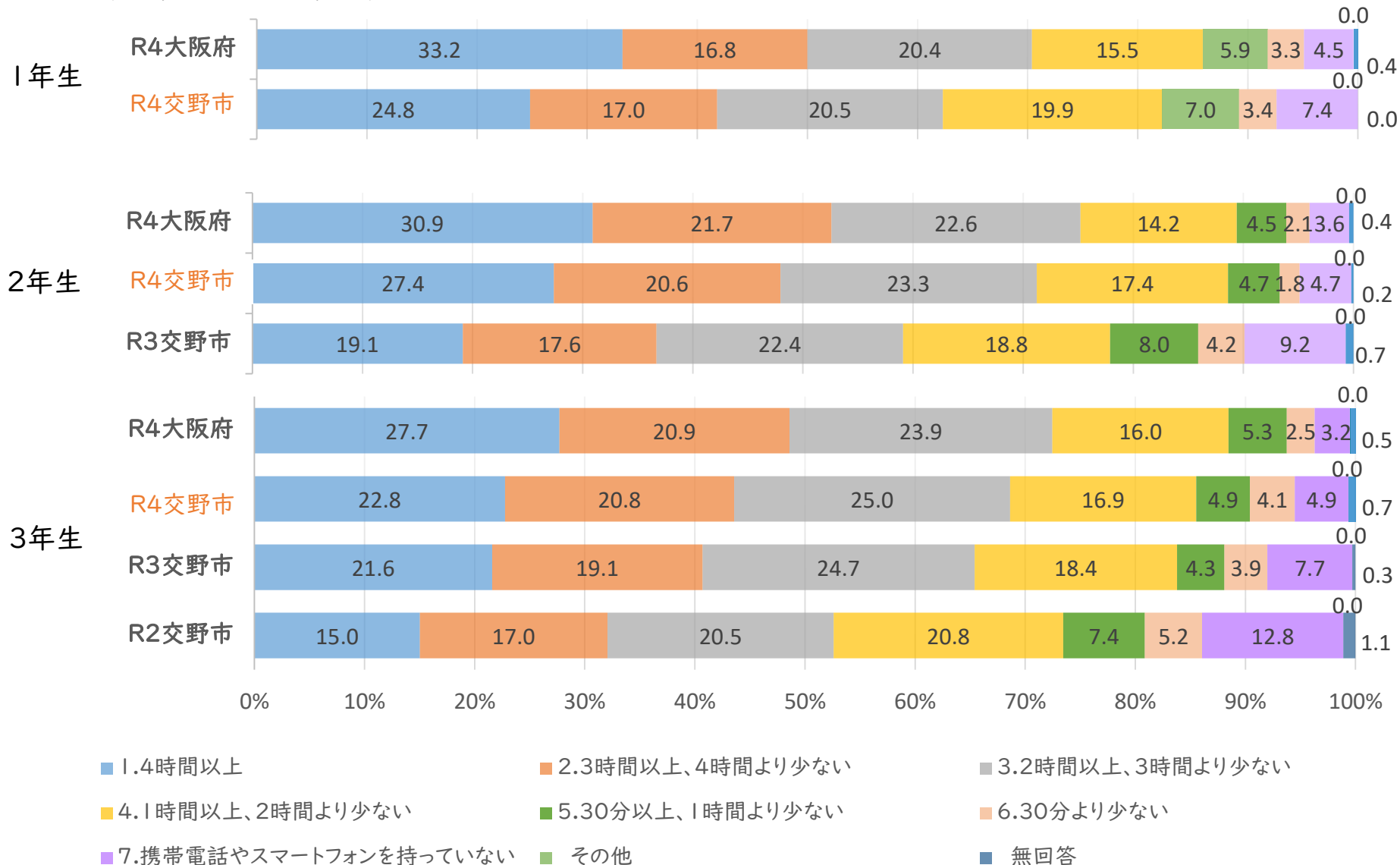
(同一集団経年比較)

Q.テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。



(同一集団経年比較)

Q. 普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。



学力向上のための 方策



現状と課題

教科テストから

- △ 数学や理科の知識・技能の定着に課題が見られました。
- △ 文章の内容や資料などから読み取れる確かな事実に基づいて、筆者の考えをまとめたり、自分の考えを説明したりすることに課題が見られました。
- ◎ 無解答率は、府の平均と比較すると概ね下回っており、ねばり強く問題に取り組む姿勢が育まれていると考えます。

アンケートから

- △ 「テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。」の項目では、同一集団経年比較において肯定的回答の減少傾向が見られました。
- ◎ 「授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。」「授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある」「授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある」「授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。」「授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。」「自ら課題を見つけて、家で勉強している。」の項目では、全ての学年で肯定的回答が府の平均を上回りました。

改善のための方策

① 授業改善の推進

- 各教科で日常生活とのつながりを考えさせるような場面を繰り返し設定することで、「知識・技能」の定着を図ります。
- 市が指定している「学力向上モデル校」において、学力向上に効果のあった取組みや先進的な授業等の実践を全市立小・中学校へ発信し共有します。
- 生徒が家庭で学習内容を予習してから授業に臨む、反転学習の取組みを推進します。

② 各教科における質の高い言語活動

- 判断と根拠、結果と原因の関係を明確にして表現する等の力を身に付けるため、全校に配置した「学びあいサポーター」を活用し、各教科に適した言語活動を設定し、「理由や根拠を明確にして伝える力」を育成します。
- 学校図書館や全校に配備する新聞等の資料を活用し、自ら課題を発見し、解決に向けて主体的・協働的に探究する力を育成します。
- 一人でじっくり考える「自力解決」の時間を確保し、自分の考えを書く場面を設定します。

③ 学校支援の充実

- ICTを効果的に活用した学習活動となるようICT活用研修やコアメンバーによる研修を充実させます。
- 経験の浅い教員等に対するサポートや授業観察を実施し、「かたのスタディ」に基づいた指導・助言を行います。